

衛生係より

ツベルクリン・BCG接種

次の日程で、ツベルクリン反応検査及びBCG接種を実施します。母子健康手帳及び印鑑御持参の上、受診下さい。

一、実施日時
ツ反 平成三年四月十日(水)
ツ反判定及びBCG接種
平成三年四月十二日(金)

二、受付時間
午後一時～二時

三、実施場所
津奈木町改善センター

四、対象児
平成元年四月一日から平成二年九月三十日までの出生児

※今年度から対象児を満六か月以降にしました。又、未接種者は三歳まで受けられます。

在宅の看護職の方へ

町内に在の助産婦・保健婦・看護婦・看護婦の名簿を作成します。

町内で実施する老人の家庭訪問指導や健診(母子・がん検診)

事業等に協力を希望する方は、役場町民課衛生係まで御連絡下さい。

教育委員会より

奨学生募集

津奈木町奨学金貸付条例により平成三年年度の奨学生を募集します。

高校又は大学等に、入学又は在学している人で、向学心に富み、有能な素質を有し、かつ経済的理由により修学困難な者に貸付けられます。ただし、本町の奨学金以外の資金(育英資金など)の貸付けを受けている人は借りられません。

年金係より

●国民年金の保険料が四月から変わります。

定額保険料 九、〇〇〇円
定額+付加保険料九、四〇〇円
財政のバランスを維持するために保険料の段階的な引き上げが必要となります。加入者の皆さんが豊かな老後を送るためにも保険料の引き上げについて充分なご理解とご協力をお願いします。

税務課より

所得税の確定申告が間違っていたときは

平成二年分所得税の確定申告の期限は三月十五日ですが、確定申告書を提出した後で申告書の記載内容に間違いがあることに気付いた人は、それを訂正することが出来ます。申告した税金が過少だったり還付を受けた金額が多過ぎたりしたときは、金額が多過ぎたりしたときは、

奨学資金

高校月額 一万円
大学月額 三万円

御希望の方は四月中旬に教育委員会事務局へお申込み下さい。

「修正申告」により正しい金額に訂正する必要があります。

また、逆に申告した金額が多過ぎたり、還付を受けた金額が過少だったりしたときは、正しい金額にするために「更正の請求」をすることが出来ます。

この「更正の請求」ができる期間は、来年の三月十六日までです。修正申告や更正の請求の手続など、お分かりにならないことがありましたら、最寄りの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ね下さい。

固定資産課税台帳の縦覧について

固定資産課税台帳の縦覧を次のとおり行います。この期間は、

〇年間に国民年金の保険料をすべて納めた場合に、満額の年金が支給になります。

二、納めた期日が四〇年に不足する場合は、期間に応じて減額されます。

三、国民年金が満了したのは昭和三十六年四月一日のためにこのとき二〇歳以上の人は、六〇歳に達するまでの間に、四〇年の加入期間を満たすことができ

ません。そこで、表1のとおり生年月日に応じて、加入可能年数が定められています。すべて納めていれば満額の老齢基礎年金が支給されます。計算式で示すと表2のようになります。

・表1

生年月日	加入可能年数	生年月日	加入可能年数
昭和2年4月1日以前	25年	昭和10年4月1日以前	33年
" 3 " 4 " 1 "	26年	" 11 " 4 " 1 "	34年
" 4 " 4 " 1 "	27年	" 12 " 4 " 1 "	35年
" 5 " 4 " 1 "	28年	" 13 " 4 " 1 "	36年
" 6 " 4 " 1 "	29年	" 14 " 4 " 1 "	37年
" 7 " 4 " 1 "	30年	" 15 " 4 " 1 "	38年
" 8 " 4 " 1 "	31年	" 16 " 4 " 1 "	39年
" 9 " 4 " 1 "	32年	" 16 " 4 " 2 "	40年

・表2

681,300円 ×	保険料を納めた月数 ÷ 保険料を免除された月数 × 1/4	加入可能年数 × 12	(平成2年度)
------------	-------------------------------	-------------	---------

「寄附お礼」

二、縦覧場所
津奈木町役場税務課

〇美術品取得基金へ
水俣市大迫 前田軍三様
平国下 濱田久米男様
桜戸 篠原常義様
〇図書費へ
川内 西平弘美様
〇重盤岩国旗代として

「芳志お礼」

中尾 山口チフ様
竹中 谷川幸吉様フミ子様
以上の方々から多額の寄附を頂きました。有難うございました。

あとがき

▼昭和四十八年十一月(第九十八号)から平成三年三月(第三〇三号)まで続いておりました広報の型を、今月号よりこのA4サイズに変更致しました▼なにごとに経験不足・勉強不足の編集者ですが、読み易く親しみのもてる広報紙づくしを目指して頑張りますのでよろしくお願い申し上げます▼広報に対するご意見、ご要望また話題などありましたら役場企画課までご連絡下さい。

発行/津奈木町/編集/企画課 印刷/水俣旭印刷所

変貌する男島海岸



男島海岸堤防が変わり始めた。
前方には遠く天草を望む不知火海。
後方には千本桜を従えて。
一日も早い完成が待ち遠しい。

男島海岸高潮対策事業

工法……階段式護岸ブロック工法
五ヶ年計画……総予算費2億1千万円。延長260m
全体計画……総予算費16億3千50万円。延長2003m

4月(卯月)カレンダー

- 三 日 津奈木共同福祉施設前シンボル塔 除幕式
- 四 日 津奈木保育園 入園式 津南保育園
- 七 日 〇県議会議員選挙投票日 〇境野一之展開催 五月六日まで
- 八 日 各小学校 入学式
- 九 日 津奈木中 入学式
- 一〇日 津奈木幼稚園 入園式
- 一六日 町議会議員選挙 告示
- 二二日 町議会議員選挙投票日

人口と世帯

3月1日現在()内は前月との比較

人 □	6,030	(+7)
男	2,893	(+6)
女	3,137	(+1)
世帯数	1,784	(+2)

農協再建などに努力

文化の拠点づくりも着々と進む

三月定例議会が、三月十一日から二十日までの九日間にわたって開かれました。まず、開会冒頭において、六車町長が平成三年度予算の総括的な説明を行いました。

本会議に提案された議案は、平成三年度当初予算案など十八件、いずれも原案どおり可決されました。

また、農協経営再建に関する陳情書一件が採択されました。

新年度の一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ二十五億五千六百万円、平成二年度の一般会計予算は、今回の補正で総額三〇億千百万円となりました。

平成三年度予算

平成3年度一般会計予算

25億5,600万円

(対前年度比3.8%増)

今回の予算において、一般会計の歳出増の最も大きなものは、人件費であります。本年度予算中、この人件費関係の総額は五億八千六百九十六万六千円で、一般会計全体に占める比率は、二二・九パーセントであり、昨年度の比率を一・五パーセント上回っており、今後ますます行政需要は大きくなると思われるので、事務の簡素化、O・A化、職員の研修、適正配置等に研究を加え対処して行きたいと考えております。特に電子計算機単独導入につきましては本予算には財政事情で計上致しておりませんが、早い時期に補正予算を計上し、本年度を準備期間として、平成四年四月一日を以て実施する考えでございます。これにより事務能率の大幅な向上と住民サービスの充実を図る所存であります。

また消費的経費につきましては、全般的に極力削減の方針をとり、特に旅費及び需用費等については、これを前年度並に抑制し、年度中も実行段階において一層の節約を図って参りたいと考えております。

この様な財政事情のもとでの本年度の投資的経費は十億八千七百七十万円となり、前年度より二千九百三十八万八千円増であります。

農林水産業費におきましては、農地費、ことひら線の舗装、大瀬地区農道整備を新規に着工いたしますが、大瀬農道につきましては補助確定後に予算化を行って参ります。また、農村基盤総合整備事業は引き続き農道新設、又は集落道の新設改良、集落公園等を主に工事を施工する考えであります。

農協経営再建につきましては、昨年暮れに開催されました臨時総会において承認され、早速農協広域合併推進特別対策事業の適用申請書を県に提出し、今年一月二十八日付をもって必要償却額十一億四千六百万円の認定がなされております。この特別対策事業は、県、地元市町村の財政的措置をはじめ、県下系統農協、各農業団体も資金援助を行い、再建を図るものであります。

甘藷対策事業につきましては、かんきつ園地再編対策事業が全国的に予想以上の効果をもたらした、かつ自然淘汰をも助長して生産量が半減していることや、米産出率の低下、グレープ等が寒波被害を受け、輸入量が削減されているに伴い、市場価格が例年になく高騰を取り戻しておりますことは大変喜ばしいことであります。また、今年四月一日から輸入自由化が実施され、果樹農業におきましては未知の試練に直面することになり

ます。従って本町においては昨年に引き続き清見、デコポン等の高品質果樹への更新を積極的支援、推進して参る所存であります。

林業費では、森林総合整備事業、間伐促進強化対策事業、三ッ峰林道舗装工事を継続、実施致します。また本年度新規着工となります林道花月線(辻、清水間)は、総延長二千メートル、幅員四メートル総事業費一億円を五ヶ年計画で継続施工するもので、関係者にはよろしく御協力をお願いする次第であります。

水産業費につきましては、近年本町漁業の基幹である吾智網漁業が漁獲や漁場環境の悪化に伴い、漁獲量が激減し、漁家の生活、経営に大きな支障をきたしております。

一方、カタクチイワシは安定した漁獲量を堅持し、自然食品としての需要も高く順調な販売がなされておりますが、更に共販体制を確立して品質の向上と付加価値を高め持続的販売価格の安定を確保するため沿岸漁業構造改善事業計画をたて漁協が事業主体となりチリメン加工場を建設するものであります。

漁港建設費では、引き続き福浜漁港の護岸工事や、県営合串漁港修築事業等を施工致します。

国土調査費については、本年度に引続き赤崎地区の字尾上、



▲チリメン加工場建設にも取り組む

産業再配置促進の国庫補助金を利用する様、申請中であります。その他旧役場及び公民館の解体費やJR津奈木駅舎と兼ねた商工会館を建設したい考えであります。また本工事につきましては平成二年予算において建物の設計を委託中であり、その完了後、確定事業費により予算化をお願いし、着手したい考えであります。

土木費については、町道赤崎線、辻線、津奈木村線等の改良工事を主に、継続施工と致します。新規事業では、倉谷工場団地に通ずる日野越線の拡充改良工事や、赤崎線舗装、諏訪線、馬米宇土線の四路線について新

たに着工する計画であります。

住宅対策につきましては、平国地区に公営住宅Ⅱ種三棟を建築するよう計画中であります。

教育関係では、昭和三十三年に建築された現在の給食センターは木造建築であり、老朽化が進んでおります。給食設備等も、人力によるところが多く、早急な改築の必要性を認め取り組むことに致しました。建築場所につきましては、現在地は文化の拠点づくりを推進したいとあり、環境にそぐわないので、これを幼稚園の隣り西側の空地に移転したいと考えております。



▲改良が進む津奈木村線

施設の新設費を計上しております。その他、合併処理浄化槽の補助金につきましても、昨年に引き続き計上し、環境衛生整備の促進を図って参ります。

特別会計では、国保、老人保健等につきましては、例年通りであります。簡易水道事業では、永年内野地区におきましては生活用水に支障をきたしておりましたが、昨年航空探査による有望箇所のボーリングを先般行いましたところ、深度一五〇メートルで日量六〇〇トンの水源を確保できましたので、新年度事業として施設化を計画致しました。

以上、一般会計および特別会計の投資的経費を紹介しましたが、合計十一億五千七百七十五万七千円となり、本町の財政力から判断しましても積極予算の編成であると確信するものであります。

一般会計予算 二十五億五千六百万円

歳 入

歳 出

農林水産費 5億7,340万2千円 22.4%	地方交付税 11億8千万円 46.2%
総務費 3億7,287万5千円 14.6%	県支出金 2億6,836万5千円 10.5%
公債費 3億6,941万2千円 14.5%	町税 2億3,287万6千円 9.1%
教育費 3億2,243万8千円 12.6%	町債 2億860万円 8.2%
土木費 2億4,417万4千円 9.6%	国庫支出金 2億23万7千円 7.8%
民生費 2億1,456万4千円 8.4%	繰入金 1億7,950万6千円 7.0%
商工費 2億59万8千円 7.8%	財産収入 1億1,770万7千円 4.6%
衛生費 1億1,851万8千円 4.6%	分担金・負担金 6,237万6千円 2.5%
議会費 6,946万3千円 2.7%	地方譲与税 4,200万円 1.6%
消防費 6,854万8千円 2.7%	使用料及び手数料 2,580万1千円 1.0%
その他 200万8千円 0.1%	その他 3,853万2千円 1.5%

健康づくり推進大会

三月一日午後一時三十分より、津奈木共同福祉施設において、婦人会や老人会の人達など約百七十人及び津奈木中学校二年生八十人が参加して、平成二年度健康づくり推進大会を開催しました。

会長（町長）・水俣保健所長さんのあいさつに続いて、成人病検診（住民レントゲン検診・基本健診・がん検診）受診優良地区の表彰があり、川内・平国・上・下門・築竹・古川の五地区を表彰し記念品を贈りました。

次に、本町の基本健診に協力していただいている鹿屋体育大学の東博文先生が「今、なぜ嫁にきたがらないか」と題して現代の人口問題から結婚・嫁姑など家庭問題についての講演がありました。

最後は、元オリンピック選手、現在鹿屋体育大学助手の森尾麻衣子先生の講演でした。『競技生活をおして得たもの』と題して、体操選手として二回のオリンピック出場のため普通の人以上に努力したこと、体操を通じて道はチシマザクラとエゾザクラが対象です。平均開花時期は、

花です。しかし、日本列島は南北に長いので、その開花時期は場所によってかなり違ってきます。この時期、サクラの開花した地区と開花していない地区の境に線を引くと、天気図の前線のようになります。これを、通称「サクラ前線」といっています。

て一生懸命何かに取り組むこと、目標意識をもつことの大切さを感じていること等、体験談を話され、参加した人達も感激し、熱心に聞いていました。



▲鹿屋体大の東 博文先生(左)と森尾麻衣子先生

最近、話題になっているのが、高速道路のサクラ前線です。全国の高速度道路のサービスエリアやパーキングエリアに「高速道路のサクラ前線」として、合計十八万本のサクラの木が植えられています。ドライブ中にサクラが咲いていたり、咲いていなかったり……。サクラ前線の進み具合が分かって、おもしろいものです。

春は、みどりが萌えたと季節でもあります。四月二十九日の「みどりの日」を最終日にした一週間は「みどりの週間」で、各地でみどり豊かな国土を守り育てる行事が行われます。

サクラ前線

五月二十日ごろにチシマザクラが開花します。日本列島の縦断におよそ半年もかかるのです。こうした植物による季節観測は、ほかの植物でも行っていますがサクラのほかには「紅葉前線」がよく知られています。

告知板

みんなで投票しましょう。
4月7日県議会議員選挙
4月21日町議会議員選挙

選挙

◎町議会議員選挙

投票用紙には、自分が投票しようとする候補者、一人の氏名を自書し投票して下さい。

尚、県議会議員選挙も同様に自書式となります。

不在者投票

選挙当日、決められた投票所で投票出来ない人は、不在者投票が出来ます。

◎不在者投票の方法

一、町議選の期間、4月16日午前八時三〇分から、4月20日午後五時までの間で、町の選挙管理委員会（総務課）に出向き、所定の手続きを済ませて投票して下さい。尚、町外に居る人は、町選挙管理委員会に請求されると、居住地の本人宛郵送致します。関係書類一切を、居住して

休みの日には何を？
ショッピングやドライブです。

趣味は？
音楽鑑賞です。

好きな言葉は？
「出会い」です。

わっかもんほっだしもん

6

久村 きみ子さん (古中尾)
S41. 4. 3生 B型 株平国野崎建設勤務



一票の力を信じて！

いる市町村の選挙管理委員会に持参し、投票して下さい。

二、船舶、病院、老人ホーム等（指定された病院）に居る人は、その責任者に依頼すると、その人が代理人となり選挙人にかわって、不在者投票用紙請求等の手続きを済ませてくれますので、そこで投票出来ます。

三、身体に重度の障害がある人（両下肢等の障害）は、法で決められた規定に従い郵便投票

結婚の予定年令は？
27才ぐらいですね。

理想の男性は？
誠実な人

今行ってみたい所は？
日本のあらゆる観光地。

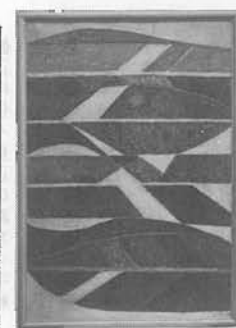
青春とは？
好きな事をしてる時。

町で一番好きな所
B G 体育館横の黄色に色づく頃のイチヨウ並木です。

犬 狂犬病予防注射

犬を飼われる方は狂犬病予防法第四条に基づき注射並びに登録をするようになっていきます。

注 射 と 登 録 の 日 程		
4月22日(月)	大迫漁港前 新川 西川裕氏宅横 小津奈木 男島レストラン横	9:00~10:00 10:30~11:30 13:00~14:00
4月23日(火)	川内肥薩陶器瓦入口 中尾諏訪神社前 旧役場	9:00~10:00 10:30~11:30 13:00~14:00
4月24日(水)	赤崎漁村センター 平国会館 合串村上源作氏宅前 福浦公民館	9:00~10:00 10:30~11:30 13:00~13:20 13:30~14:00



をすることが出来ます。

境野一之展

▼とき
四月七日(日)~五月六日(月)
▼ところ
津奈木共同福祉施設
▼企画
津奈木町
津奈木共同福祉施設
お問合わせ
津奈木町役場内 境野一之展プロジェクト
▼入場料
三百円(中学生以下無料)

特産品開発をめざして

—北海道研修報告—

活性化推進委員 松本 修平
役員企画課 浦田 伸一
次山久食品(株)を訪ねた。スケソーダのスリミ加工で、カマボコの原料を作っていた。工場内では、独自の大型機械を導入しており、写真撮影は断られた。社長の話では、原料不足で黒字経営が厳しいとのことであった。

研究を通して、北海道の特産品はカニを除くと本州への加工原料供給が主であり、取引規模も大きなものとなっている反面一品一品の付加価値を高める技術は遅れている。例えば、辛子明太子は、福岡県に原料を販売し、製品を買取っている状況である。水産試験場長の話でも、加工技術の導入は、今後の大きな課題だと言ったことである。



「MOO」商品陳列のようす



釧路フィッシャーメンズワーク「MOO」

江戸時代のかわわ版

—津奈木町誌編集室—

御惣庄屋の耳に入ったからたまらない。とこの村懸りの者が言ったかと、津奈木村、上門村、中村の各庄屋へ調査の指示が出された。

三月なかばは百姓にとって苗代の種蒔で忙がしい時期であった。にも拘らず、すぐにはどうということもない干拓に百姓を動かして、という反感が言われたであろう。